

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

本件抗告の趣意は、憲法三七条違反をいうが、本件証拠決定のように、訴訟手続に関し判決前にした決定は、刑訴法四三三条一項にいう「この法律により不服を申し立てることができない決定」にあたらないから、本件抗告は不適法である。

よつて、同法四三四条、四二六条一項により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和六〇年六月二五日

最高裁判所第二小法廷

|        |   |   |    |
|--------|---|---|----|
| 裁判長裁判官 | 大 | 橋 | 進  |
| 裁判官    | 牧 | 圭 | 次  |
| 裁判官    | 島 | 谷 | 六郎 |
| 裁判官    | 藤 | 島 | 昭  |